

希望が丘文化公園基本計画の策定について

1 趣旨

- 希望が丘文化公園は年間約 90 万人が来園する中、開園後 40 年以上が経過しており、社会情勢の変化や利用者ニーズの多様化に応える満足度の高い公園づくりが求められている。
- 昨年12月に希望が丘文化公園の将来像と方向性を定めた希望が丘文化公園将来ビジョンを策定し、将来像として『人と人』『人と自然』の関わりを深め、心の豊かさを育む公園」を目指すこととした。
- 将来ビジョンを具体化し、将来像の実現に向けた取組を着実に実施するため、希望が丘文化公園基本計画を策定する。

2 基本計画の内容

基本計画には次の内容を盛り込むこととする。

- ・ 将来像の実現に向けた取組を明らかにする事業計画
- ・ 滋賀県県有施設更新・改修方針を踏まえた老朽化に対応する施設の更新計画

3 基本計画の期間

平成 29 年度 (2017 年度) ～平成 33 年度 (2021 年度)

4 検討の進め方

- 利用団体や関係市町など希望が丘文化公園に関わる多様な主体と対話を重ねる。
- 有識者等による基本計画検討懇話会を設置し、専門的な意見を求める。
- 庁内に関係課長会議および関係課ワーキンググループを設置し、部局横断的な連携を図る。

5 スケジュール (案)

平成 28 年 7 月～ 利用団体・関係市町等との対話
8 月～ 基本計画検討懇話会の開催 (3 回程度)
12 月 基本計画 (案) について常任委員会で報告
県民からの意見・情報の募集
3 月 基本計画 (最終案) について常任委員会で報告
基本計画の策定・公表

※随時、庁内会議を開催

(参考) 希望が丘文化公園将来ビジョン 概要

1 背景と目的

○背景

・昭和47年の開園から40年以上が経過しており、利用者のニーズに応え、希望が丘文化公園の特性を活かした満足度の高い公園づくりが求められている。

○目的

・設管条例の目的にある「すぐれた自然環境を保護し、活用し、県民にいい場を提供するとともに、広く県民文化、体育の向上に資する」ことをコンセプトとし、希望が丘文化公園のあるべき姿を明らかにする。

2 施設概要

○位置

・野洲市、湖南市、竜王町にまたがる幹線交通網に恵まれた地

○面積

・東西約4km、南北約1kmに広がる、416haの広大な自然緑地

○主な施設

・青年の城、野外活動ゾーン、キャンプ場、スポーツ会館、陸上競技場、球場、野球場、テニスコート、フィールドアスレチック、グラウンド・ゴルフ場

○来園者数

・近年は年間約85万人前後で推移

3 強みと課題

【強み】

- 園内に森、山、川が存在し、多様な動植物が生息する自然豊かな公園
- スポーツ施設や芝生広場を有し、幅広い世代がスポーツ・レクリエーションを楽しめる公園
- 自然体験プログラムや野外活動指導者研修など公園の資源を活かした社会教育の場になる公園
- 集団宿泊体験や野外活動フェアなど交流の輪が広がり、人と人がつながる公園

【課題】

- 人口減少による来園者数の影響、少子高齢化に応じた場づくり
- 東京オリパラ、滋賀国体を見据えた、スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境の充実
- 施設の老朽化、自然管理の手入れの増加
- 園内外のアクセスの改善、魅力づくり・魅力発信の強化

4 希望が丘文化公園の将来像と方向性

基本理念

設立時は、自然や憩い、文化活動や体育活動の場を提供し、人々の余暇活動を豊かにすることが希望が丘文化公園の使命であった。

その後40年の間に社会構造の変化や生活の行動様式の多様化が進み、人と人、人と場との関わりが希薄になりつつある。

そうした時代の潮流を踏まえ、県民が希望が丘文化公園において、交流・自然観察・スポーツなど様々な体験を通じて人と自然との関わりを深め、人と人の絆や自然を大切にすることを育むことを目指すこととし、『人と人』『人と自然』の関わりを深め、心の豊かさを育む公園』を希望が丘文化公園の基本理念とする。

人々の余暇活動を豊かにする公園

時代の変化

「人と人」「人と自然」の関わりを深め、心の豊かさを育む公園

目標

○『人と人』『人と自然』の関わりを深め、心の豊かさを育む公園』と感ずる利用者の割合

平成52年度(2040年度) 85%以上

○希望が丘の年間来園者数

平成26年度(2014年度) 89万人

⇒平成52年度(2040年度) 100万人以上

将来像の実現に向けて

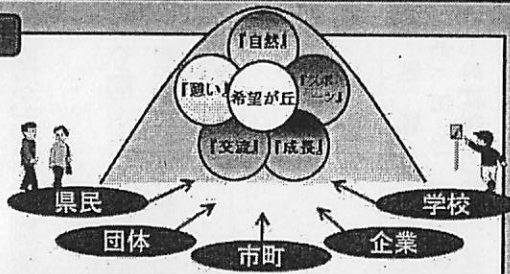
○老朽化に対応する施設の更新および基本理念を根付かせる取組を含めた希望が丘文化公園基本計画を策定。

○本ビジョンは10年を目標に評価し、柔軟に見直しを実施。

将来像と取組の方向性

<①希望が丘の機能を知り、利用する>

希望が丘文化公園が持つ場の機能を利用者のニーズにあわせて強化し、多くの方に利用してもらおう。

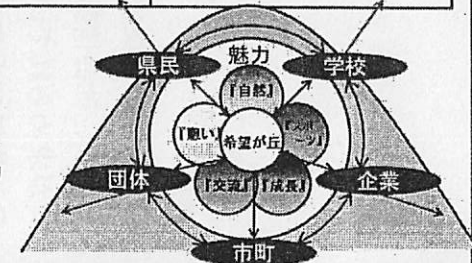


機能強化

	短期	中長期
「自然」	○豊かな自然とそこに息づく動植物を活かすための管理 ○自然の風景地や多様な動植物を知り、観賞・活用しやすい場の提供	○適切な管理による里山の再生や持続可能な資源活用の実施
「憩い」	○自然や芝生広場の中でのびのびとできる取組の実施(ベンチの設置等高齢者への配慮等) ○安心して快適に過ごせる施設・場の提供	○安心して快適に過ごすための施設の更新 ○園内外の交通アクセスを改善する取組の実施(周辺施設との連携等)
「スポーツ」	○スポーツやレクリエーションを気軽に楽しく快適に取り組みめる場の提供(スポーツ教室の実施等) ○スポーツやレクリエーションの大会の実施や観覧の機会の提供	○国民体育大会等のスポーツ大会を呼び込む競技性・快適性の高い施設の整備 ○新たなスポーツ・レクリエーションの普及にあわせた場の提供
「交流」	○家族や仲間、来園者同士が世代を超えて交流を深める場の提供 ○自然体験活動やスポーツ等に取り組む団体の交流を深める場の提供	○希望が丘文化公園が持つ人材・ノウハウを活用した園外交流の展開
「成長」	○自然体験活動やレクリエーションで学びを伝える取組の実施 ○自然体験活動を指導する人材育成の実施	○県内の自然体験活動を支援する体制づくり

<②、③みんなで希望が丘を育て、発信する>

県民、学校、団体、企業、行政など幅広い主体が関わり、場の機能を活かした魅力的なメニューをつくり、希望が丘文化公園の魅力として発信する。



新たな取組

みんなで育てる

- 公園の運営・事業に参画する公園サポーターを各主体から募集
- 公園サポーターで構成する魅力づくりに向けた検討会を実施

みんなで発信する

- 各主体と連携し、園外での地域活動・交流を積極的に実施
- 各主体がフェイスブック等により希望が丘の取組・魅力を発信